

単元名 気持ちがつながる家族の時間

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解することができる。
 (2) 家族との触れ合いや団らんについて、課題を見付け、その解決を目指して、家族との関わりについて工夫することができる。
 (3) 家族との触れ合いや団らんについて、知識をより深く身に付けたり、家族との関わりをよりよく工夫したりしようとする。

標準的な展開例

05090204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 家族と触れ合う時間を見付ける。</p> <p>★団らんのよさを見付け、「わが家の団らんタイム」の計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イラストの家族の様子について話し合い、自分の家庭を振り返る。 ○団らんのよさを見付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・会話が増える。 ・家族の仲が深まる。 ・家族の仕事について知ることができる。 ○団らんの計画の方法を知り、「わが家流団らんタイム」を計画する。 <ul style="list-style-type: none"> ・いつ ・どこで ・だれと ・どのように行うのか <p>2 団らんと生活を生活の中に生かそう。</p> <p>★「わが家流団らんタイム」の実践報告をし、さらに工夫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで、「わが家流団らんタイム」の実践報告会をする。 ○家族とのつながりを深めるための「提案書」を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 58のイラストに描かれた団らんの様子を見ながら、自分の家庭を振り返らせる。その中で団らんのよさを見付けさせる。 【評】団らんのよさを見付ける活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・「協力」の視点で団らんのよさを見付けさせるようにする。 ・これまでにできるようになったことを生かして、お茶などの飲み物や食べ物を用意するなどの計画が考えられることを伝える。 【評】「わが家流団らんタイム」の計画を立てる活動を通して、「知識・技能」を評価する ・次時に実践報告会を行うことを伝える。また実践後に家族の感想を聞いておくことも伝えておく。 ・友達の工夫を聞いて、よかった点や改善点を考えさせる。 【評】実践報告会の活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・実践報告会で話し合った友達の工夫やアドバイスを参考に「提案書」を考えさせる。 【評】「提案書」を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】